

中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト

日経STOCKリーグ

～株式投資を通じて社会をまなぼう!～

募集要項

第27回

最優秀賞のほか、
中学・高校・大学の
各部門で表彰

「総合的な学習／
探究の時間」の実践に

総合型選抜入試や
就活のアピールにも

参加
チーム
募集

累計17万人以上が
参加

第1次締切 2026年6月30日(火)

最終締切 2026年9月4日(金)

主催：日本経済新聞社
後援：文部科学省、金融庁、日本証券業協会、日本取引所グループ、全国公民科・社会科教育研究会、
一般財団法人 日本私学教育研究所、公益財団法人 全国商業高等学校協会、全国高等学校長協会

特別協賛： NOMURA

wgi
well-growing institute

日経STOCKリーグとは

中学生・高校生・大学生のための金融・経済学習コンテスト。
参加学生が経済や株式投資に触れながら企業を知り、社会を見る目を養うことができる学習プログラムです。
「中学」「高校」「大学・専門学校」の各部門で構成、2000年に始まり累計約17万人以上の学生が参加。
2026年で第27回を迎えます。

コンテストの流れ

step
01.



3～5人でチームを組む

同じ学校内でチームを組み、
指導教諭(教員)と一緒に申し込む

step
02.



レポートを作成

テーマを設定し、それに沿った株式
ポートフォリオを組み、学んだことな
どをまとめる

step
03.



レポート提出

A4用紙30ページ以内にまとめ、
公式学習サイト「man@bow」から
提出

日経STOCKリーグで養われる力

自ら考え主体的に取り組む力、チームワークやコミュニケーション能力

中学生は

経済や金融の基礎的な理解に

高校生は

探究学習の利用に

大学生は

社会に出る前の準備に

サポート体制も充実

01.



レポートフォーマット
(オンラインからダウンロード)

02.



野村ホールディングス出張授業
(オンライン対応可)

03.



学習教材
(オンラインからダウンロード)

04.



説明会や交流会
(7/4(土)に
説明会を実施予定)

05.



公式学習サイト
「man@bow」

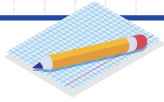
参加者の声

投資はその会社を応援する気持ち
持ちが大事であるということ
を学びました。今回の経験を活
かして将来投資をしたいと思
いました。(中学生)

日経STOCKリーグの活動を通じて、
企業を見る視点が大きく変わり、投資
とは単なる数字の比較ではなく、社会
の課題をどのように支えているのかを
考える行為でもあると感じるようにな
りました。(高校生)

企業へのインタビューを通して、企業価
値は数字だけで決まるものではないと
気づきました。AIやデータ分析が進み多
くのが数値化される時代だからこ
そ、その背景にある思いや意思に目を向
けることの大切さを実感しました。
(大学・専門学校生)

取り組む生徒にとっても、伴走する
大人にとっても、決して容易な学び
ではありませんが、金融経済教育の
分野で「探究する身体」をつくるう
えで、これほどうってつけのプログラム
はないと確信しています。(教員)

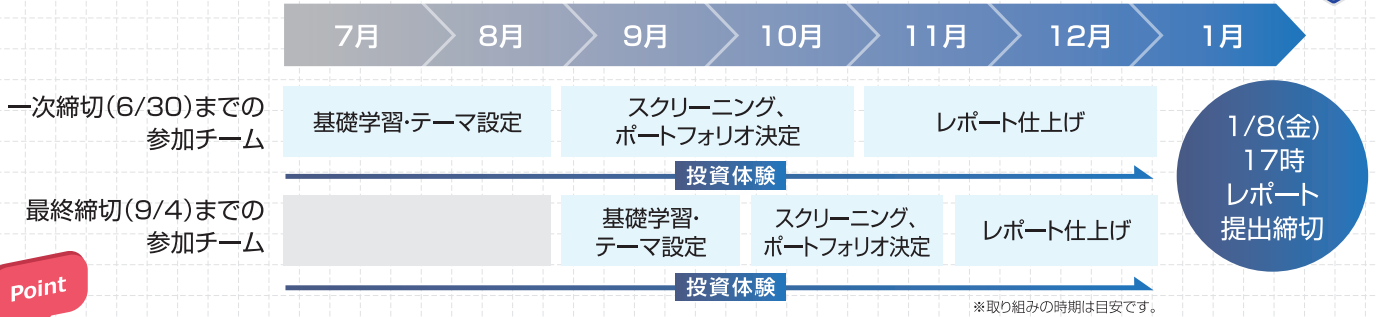


学習について

学習教材を活用しながら、レポートを作成してください。



●学習の流れ



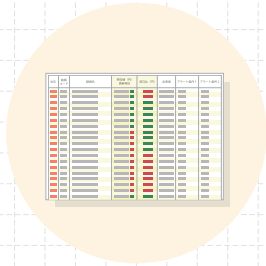
●レポート作成の流れ

1 基礎学習



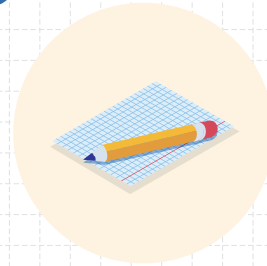
公式学習サイト「man@bow」からダウンロードできる教材を使って、経済や投資の基礎を学習してください。

2 テーマ・ポートフォリオ設定



自分たちの関心・問題意識から投資テーマを設定、テーマに沿った株式ポートフォリオ(10銘柄以上20銘柄以下)を組んでください。

3 レポート作成



なぜそのテーマか、設定したポートフォリオの値動きやそれを見て気がついたこと、学んだことをレポートにまとめてください。

レポート作成のお悩みに回答! 学習コンテンツはこちらから「[教えて!!日野先生](#)」へ。



◎「バーチャル投資システム」について

仮定の株式売買を行う日経STOCKリーグオリジナルシステムです。チーム登録後から利用できます。ポートフォリオを組む際に、どの銘柄を選定するか、仮定の売買を通じて検討してください。ポートフォリオに組み入れる銘柄が決まったら、値動きを考察してください。

※ポートフォリオの最終的な評価額は審査に全く関係ありません。最長7カ月超、組み入れ銘柄の値動きを考察できます。

組み入れ銘柄が決まり仮想資金500万円を改めて配分したい場合などには、ポートフォリオの組み入れ銘柄と評価額をリセットする「リセット機能」をご利用ください。(「リセット機能」は11月末まで、各チーム2回まで)。



●公式学習サイト・学習教材

公式学習サイト「man@bow」の機能

- 第27回日経STOCKリーグの情報更新
- 「STOCK FANTASY」
- 学習ガイドブック・レポートフォーマットなど「基礎学習」のための教材のダウンロード
- 参加者向け動画の公開
- バーチャル投資システムへのアクセス
- レポート提出受付
- 過去の事例の紹介 など

教材

- 「STOCK FANTASY」
- 学習ガイドブック

- 参加者向け動画

※上記3点「man@bow」にて公開

教材名(希望者のみ)	利用開始時期
日本経済新聞 ^{※1}	10月1日
日経電子版(有料会員サービス)	10月1日 ^{※2}
NIKKEI Asia(有料会員サービス)	10月1日
NIKKEI FT the World ^{※3} (有料会員サービス)	8月1日

※1 日本経済新聞は指導教員からの申し込み受付となります。
※2 一次締切までに申し込みの希望者は、8月1日から利用が可能です。
※3 一次締切までに申し込みの希望者のみが対象です。

グローバルな視座育成と取り組みやすさも追求

世界経済の情報収集を 幅広く行える学習教材が 揃っています

世界のビジネスパーソンが日々接している
ニュースや分析、話題に触れる機会を増やし、
テーマ設定に生かします。

NIKKEI Asia



NIKKEI FT the World



レポートのポートフォリオにアジアの有力上場企業各社も組み入れることができます

日本国内上場株式のみならず、世界経済の成長センターとして存在感を増すアジア企業の株式を
ポートフォリオに組み込むことができます。

※アジア企業の組み入れは必須ではありません。

※組み入れ対象は「日経アジア300インベスタブル指数」の構成銘柄約300社です。

総合型選抜入試や就活でもアピールできる!?



学習指導要領にも沿う、日経STOCKリーグに取り組むことで養われる力。

変化の激しい社会において、自ら課題を
見つけ、課題における解決策を創造して
いく力が求められています。日経STOCK
リーグは、課題解決力に加えてチームで
取り組むことを通じて協調性も養われ、こ

れからの時代にますます求められる総合
的な力を養う格好の舞台です。過去26回
開催してきた中で、入賞チームのメンバー
が総合型選抜入試でアピールして高評価
を得た事例も多く聞かれています。また

日経STOCKリーグで得た実践的な知見
により、大学生からは就活でも経験が活き
たとの声もあります。文系・理系にかかわ
らず、ふるってご参加ください。

オンラインで遠方の企業へのインタビューも!

企業への取材やメンバー間の協議に、積極的にデジタルを活用。

学校内でのデジタル学習支援ツールの活
用なども相まって、リモート授業やデジタ
ル機器の操作などにも慣れたことと思ひ
ます。そこで習得したスキルを、企業イン

タビューやレポート作成にも活用してみ
てください。たとえば、遠方の企業を訪問し
てインタビューするのは難しくても、オン
ラインなら様々な企業にアプローチでき

ます。また、メンバー間の協議やレポート
作成でも、場所や時間の制約が少なくな
ります。熱意と行動力に、デジタルの力を
加えましょう。

学びのアウトプットを“レポート”に一本化

「基礎学習」を見直し、レポート中心の設計で、思考力を高める。

これまでレポートは「基礎学習」と「レ
ポート作成」の2つで構成していましたが、
今年は必須だった「基礎学習」を見直し
て、レポートにより集中できる形に変え
ました。その分、分析や考察、文章を書く

時間をしっかり確保できるので、チームご
との着眼点や議論の深さを、そのままア
ウトプットに反映しやすくなっています。
初めて参加される方も、公式学習サイト
「man@bow」にある教材やガイドブック

を使えば、必要な基礎知識を自分のペー
スで身につけることができます。必須の学
習をシンプルにした分、「議論の濃さ」と
「アウトプットの完成度」にしっかり向き合
える設計です。





スケジュール

参加申込み期間

2026年
6月1日(月)

公式学習サイト「man@bow」
(<https://manabow.com/>)から参加登録

登録受付開始

参加チームに対し、随時ID/パスワードを連絡
「バーチャル株式体験学習」開始

6月30日(火)

第1次参加申込締切

第1次締め切りまでにお申し込みいただいた先生、学生の皆様は、
日経電子版、NIKKEI FT the World有料会員サービスを8月上旬からご利用いただけます。
(どちらのサービスも別途申し込みが必要です。)

7月4日(土)

参加者向け説明会(先生、学生どなたでも参加できます。)
※オンライン開催

詳細・
お申し込みは
こちらから



9月4日(金)

最終参加申込締切

実施期間

10月1日(木)

日本経済新聞、日経電子版、
NIKKEI Asiaの配布・閲覧開始 ※希望者のみ



10月中旬

オンライン学生交流会 ※予定



2027年
1月8日(金)17時

レポート提出締切

1月下旬

1次審査通過レポート発表
バーチャル株式投資閲覧終了

2月上旬

入選レポート発表

2月中旬

最終審査会 / 結果発表ライブ

3月13日(土)

表彰式等のイベント ※大手町日経ホールにて開催(予定)

3月14日(日)~
19日(金)

最優秀チームの米国研修旅行 ※予定



審査期間 & 結果発表



応募概要

内容

中学生、高校生、大学生を対象とした金融・経済学習コンテストです。
投資テーマを決め、ポートフォリオを作成し、レポートにまとめて提出してもらいます。
レポートの提出締め切りは2027年1月8日(金)17時までです。

参加資格

国内・海外在住の中学生、高校生、大学生(短期大学、専門学校・各種学校生含む)
*1チーム3~5名(厳守)とし、同じ学校、同じ部門(中学・高校・大学・専門学校)単位で申し込んでください。同じ学校内であれば、チーム編成はクラス、クラブ、ゼミなど自由です。*原則、ご指導いただく教諭(教員)と一緒に参加ください。指導教諭(教員)1名につき何チームでもご参加いただけます。*但し、指導教諭(教員)がいない場合でも参加は可能です。詳細は事務局までご連絡ください。

参加申込方法

公式サイト「man@bow」(<https://manabow.com/>)よりお申し込みください。
他の方法(電話、FAX等)での参加申込みはお受けできません。予めご了承ください。

説明会

ご指導いただく教諭(教員)や参加学生向けに、7月4日(土)に説明会を開催します。
説明会では学習方法などをご紹介するほか、質問にもお答えします。
説明会の様子は後日アーカイブとしてman@bowサイトにアップします。

賞

- **最優秀賞(全参加チームより1チーム)**
チームメンバー全員を米国研修旅行にご招待(※2027年3月14日(日)~19日(金)予定)
※海外在住チームが受賞された場合は東京での研修旅行にご招待します。
- **部門優秀賞(中学、高校、大学部門より各1チーム、計3チーム)**
〔中学部門〕Amazonギフトカード 20万円分
〔高校・大学部門〕賞金20万円
- **敢闘賞(中学、高校、大学部門より数チーム)**
〔中学部門〕Amazonギフトカード5万円分
〔高校・大学部門〕賞金5万円
- **アイデア賞(中学、高校、大学部門より数チーム)**
〔中学部門〕Amazonギフトカード3万円分
〔高校・大学部門〕賞金3万円
- **ルーキー賞(参加回数が3回以内の中学、高校、大学部門より数チーム)**
〔中学部門〕Amazonギフトカード3万円分
〔高校・大学部門〕賞金3万円
- **審査委員特別賞(中学、高校、大学部門より数チーム)**
〔中学部門〕Amazonギフトカード3万円分
〔高校・大学部門〕賞金3万円
- **NOMURA Award**
(金融・経済教育の普及にご尽力いただいた指導教諭・教員の方々を表彰します。)

*受賞チームは2027年2月中旬に決定・発表します。 *受賞チームにはメールにて通知する他、man@bowサイトでも発表します。*「表彰式」にて最優秀賞、部門優秀賞、敢闘賞、アイデア賞、ルーキー賞、審査委員特別賞、NOMURA Awardの表彰を行いますので、受賞したチーム、指導教諭(教員)の方々は表彰式にご出席ください。(交通費は支給いたします)

表彰式

開催日:2027年3月13日(土)予定

会場:日経ホール(東京・大手町)予定

*表彰式の模様は写真や動画で撮影し、受賞校名、受賞者名、ご登壇内容やプレゼンテーション内容も含めて各媒体で紹介することがあります。予めご了承をお願いいたします。
※海外在住チームにはオンラインでご参加いただけます(最優秀賞は現地にご招待)。

(掲載予定媒体)

日本経済新聞、man@bowサイト、日経チャンネル(日本経済新聞社の映像コンテンツポータルサイト)、日経STOCKリーグのパンフレット等 ※表彰式終了後、公式学習サイト「man@bow」に入賞チームのレポートを掲載予定です。



レポート提出要項

レポート課題

設定したテーマに沿った株式ポートフォリオを組み、学んだことなどをまとめたレポートの作成

<生成AIに関する留意点/注意点>

生成AIは参加者の主体的な学びを補助する範囲でのみ利用を認め、思考や表現そのものを代替する使い方は認めません。なお、生成AIを利用した場合は、利用した内容について、レポート内で申告いただきます。利用範囲は、文部科学省の「学校現場における生成AIの利用について」(<https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/>)に準拠します。

詳しくはこちらへ



許容範囲外の行為:

生成AIで生成した文章・成果物をそのまま転記・提出すること、第三者の著作権を侵害する生成・利用を行うことなど

※レポートフォーマットの「レポート書式」の使用は任意です。

※レポートフォーマットは、公式学習サイト「man@bow」上からのダウンロードをお願いします。

※表紙については、生成AIを用いて作成することは可能です。

ただし、第三者の著作権を侵害する生成・利用を行うことは禁止とします。



レポートの体裁

・A4用紙30ページ以内(表紙含む、字の級数は10.0pt以上) ・ファイル形式はPDFにてご提出ください。

<注意事項>

※上記枚数をこえるレポートは審査の対象外となります。

※「レポート書式」を使用する場合は、枠を外しても構いません。

※レポートの表紙・本文中に記載するチームメンバーのお名前は、名字のみにしてください。

※レポートに取材先企業の方のお写真やお名前を掲載する場合は、必ず事前にご本人の許可を得ていただきますようお願いいたします。

許可がない場合は「ご担当者様」とするなど、個人が特定できないようにしてください。

※レポートの中で取り扱うデータは出典を明記してください。

※個人情報および著作権の対象となる文章・画像については、man@bow等に掲載の際、修正をお願いする場合があります。

※図表やグラフを用いる際には、文字の大きさは視認できる級数にしてください。

レポート審査のポイント

- ① 経済や株式投資の理解
- ② ポートフォリオの創造性、ユニーク性
- ③ 表現力・文章力
- ④ 学習への熱意・意気込み(アンケート調査や企業へのアプローチなどを含む)
- ⑤ ポートフォリオの理論性、専門性 ※大学・専門学校部門のみ。

※ポートフォリオが10銘柄以上20銘柄以内で構成されていない場合、審査の対象外となります。

※ポートフォリオの評価額は審査と関係ありません。

提出方法

公式学習サイト「man@bow」内の専用提出フォームからご提出ください。

提出締切日

2027年1月8日(金) 17時

最優秀賞受賞チームのメンバーは

海外研修旅行にご招待

日経STOCKリーグオリジナルの研修旅行です。



※感染症の流行状況等により、中止または変更になる場合があります。※海外在住チームが最優秀賞受賞の場合、表彰式と東京での研修旅行にご招待します。

ご登録・参加申込み

<https://manabow.com/>

第一次締切:6月30日(火)

最終締切:9月4日(金)



問い合わせ先:「日経STOCKリーグ」事務局

〒104-0045 東京都中央区築地4-3-3 東銀座ビル3F TEL.03-3545-9823 FAX.03-3545-6993
E-mail:stockleague@info.email.ne.jp